

<input type="checkbox"/> 出張報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 会議議事録				番号	DB11-231		
				作成日	2011/10/5		
件名	2011 年 10 月度部内会議議事録			部課名	認可	審査	作成
				創事業研究部	高橋		佐藤
日時	2011/10/3(月) 15:00-17:00	場所	創事業研究部会議室				
出席者	八木取締役、高橋支配人、竹迫担当部長、上森次長、庄谷技術主幹、内田グループ長、水川グループ長、越智 M、久野M、今西M、佐藤 M、（記）						
議題、議事の趣旨、結論（決定事項・要処置事項）等							担当、期限
1. 共通 1.4 項上期開発実績は、製番別実績表に加え DM11-022 Rev_A 2011 年研開計画.xls にも実績記入すること（当日、指摘忘れを議事録に追記:高橋）							水川 G 長
2. 戦略企画グループ マルチプローブの顧客対応は、これまでにコンタクトして有望と思われる5社程度に対して、再度訪問説明を申し入れる。							
3. SOFC 開発グループ ・バーナー着火不具合対策として、燃焼部に内筒を組み込む際には、内筒の耐久性（5年先/10 年先の熱変形や割れも考慮）を考慮すること。 ・LPG テストスタンドを使用する際には安全面に充分配慮すること。（ガス検知器等の設置・点検）							
4. 基盤技術連携グループ(一次伝面熱交換器) 特になし。							今西M
5. 複合材料実用化グループ (1)HTCC サポイン購入設備であるサーマルカメラを買い取った際には、社内にも紹介を行なうこと。また、材ラボで管理することも検討すること。							佐藤 M
(2)潜水艦複合材プロペラ ・SPP 社内製造のノウハウに関しては技術継承できるよう十分に注意すること。 ・KHI からの受注業務に関しては？ ⇒ 昨年度製作した供試体の割断調査であり、割断品、調査レポートを納入済み。							佐藤 M
(3)脚材料関連-Side Stay 実体試作 特になし							佐藤M
(4)高強度ステンレス鋼 ・高温特性の評価はどうなっているか？ ⇒ フォローを行なう。 ・SPP が社内加工して販売するために開発材を第3者に製造させる場合も視野に入れて検討を行うこと。							久野 M
6. 材料・プロセスリサーチラボ ORV パネルの耐エロージョン性評価に航熱製造の液体ホーニング装置を使用する際に							

配布先	
各出席者	1

		<p>は、エロージョンの磨耗粉混入、ガラスビーズへのダメージに関して航熱製造に説明を行          っておくこと。</p> <p>7. 知財・技術管理グループ          創事研の新規出願:年度目標に対し未達であるので、準備を進めてほしい。</p> <p>* 次回の 11 月度部内会議の担当は内田G長</p>	
計	11	関連文書類    2011年10月度部内会議資料	